

# JIA 関東甲信越支部長活動報告

2016年3月



支部長 上浪 寛

## 支部執行部からのメッセージ

支部大会開催まであと2か月です。3月末から始まった23地域会総会に出向き大会について直接説明して回っています。ほぼ全地域会へ直接説明ができる予定です。「ここにあるタカラもの」と題した本大会ですが、“地域の宝物”をテーマに市民、行政、専門家が一緒に考える3日間となります。会員が主役の支部大会です。建築単体の敷地を出て、日常業務から離れ社会活動参加の機会であり、新たなアイデアを吸収する良いチャンスです。多くの皆様の参加をお待ちしております。

支部大会 URL <http://www.jia-kanto.org/shibu-taikai/2016/>

・空き家空き地コンペ <http://jia-akiya-achi-compe.tumblr.com/>

・関東甲信越 地域に根ざす建築作品・活動カタログ2016

<http://www.jia-kanto.org/shibu-taikai/2016/catalog/index.html>

## 支部長活動報告

- 4日 支部大会臨時実行委員会を開催する。支部大会企画として広く一般募集する「建築家カタログ」内容の最終確認及び財務方針について協議する。地域サミットが開催される。今回は15時から18時まで第1部を従前の意見交換会とした。2016年度支部活動方針・予算について、支部大会について、地域会活動費並びに活動について、2018年度第2回支部大会、2018年本部大会、アルカシア大会、等について意見交換を行う。第2部に首都大学東京大学院准教授の市古太郎先生を迎えて「事前復興まちづくりの実践と有効性」の講演をいただき、その後意見交換を行った。
- 6日 全国支部長会議が沖縄県那覇市のJIA支部で開催される。昨年JIA正会員は全て登録建築家になろうと言う本部総会での決議を受けて登録建築家が大幅に増員される見込みだが、特に新入会員への説明について全国の様子を意見交換する。登録建築家の認定が年1回であるため説明がしにくいとの意見が多く出る。登録建築家申し込みを随時できるように理事会で提案することになる。
- 8日 スウェーデン大使館主催イベント「Treasures of the Forest～森のタカラ、未来のチカラ」が始まる。夕刻、駐日スウェーデン大使公邸でローバック駐日大使主催のレセプションパーティーに出席。
- 9日 今日はスウェーデン大使館アルフレッド・ノーベルホールで、スウェーデン・日本両国のパネラーたちによる講演会が行われた。お互いの経験や知恵を学び合うことでより緊密な協力関係の構築や地域振興を促進することを目的としている。事前登録した一般参加者が多く参加している。夕刻よりスカンジナビア料理が参加者に振る舞われ、国際色豊かな懇親会となる。

- 10日 法人協力会員と正会員との交流の場である交流大会が開催される。私の簡単な挨拶の後、次期執行体制について藤沼次期支部長が方針を述べる。夕刻より懇親会が開催され多くの法人協力会員と懇親を深める。懇親会の終了後、スウェーデン建築家協会呼びかけによるパーティーがスウェーデン大使館近くの店で開かれるため、藤沼次期支部長と駆けつける。準備に奔走された JIA 国際事業委員と共に、スウェーデンの建築家達と遅くまで酒を酌み交わし、大変楽しいひと時を過ごした。
- 11日 支部大会実行委員会が開催される。全てのプログラムが決まり、当日準備のためのプログラムシートの整備を進める。集客の目途がまだ立っていない。23 地域会の総会季節に入るので極力全ての地域会に出向き、支部大会について直接説明することが大事だ。総会日程の取集を行い可能な限り実行委員長が出向き、かなわないところは手分けすることにする。支部大会まであと3ヶ月。
- 14日 正副会長会議が開催され3日後の理事会議題について協議する。本部総務委員会が開催される。入退会審査の結果、正会員数が4,000名を切った。2016年フェロー会員を理事会へ推挙することを承認する。事務局関連の規程類案を理事会に挙げることを承認する。登録建築家数がだいぶ増える予定だが、手続きの簡略化及び申請機会を増やすことを理事会に提案する。東京三会建築会議が開催される。東京都財務局への要望書と同時に自民党への要望、公明党への要望が出されたことが報告される。三会の新たな活動として、待機児童問題にかかわる保育所設置に関連し、条例など制度的に問題がある点を指摘・提言することを JIA から提案し、WG を立ち上げることにする。
- 17日 第232回理事会が開催される。2018年アルカシア大会開催を日本で誘致する方針を確認する。日本の建設投資は90年代より半減して50兆円を割っている中、中国60兆円超アジア全体で130兆円超(2012年)となっており、国際交流は今後アジアをベースに外交からビジネスへの時代に入るとは明白だ。海外投資のみならず日本に海外からの投資を呼び込むことも大きくなるだろう。2011年UIA東京大会の成功で建築設計界の国際化の先鞭を付けたが道半ばだ。2018年にアルカシア大会を日本で開催することが、2020年東京オリパラ大会後の持続可能な建築まちづくりの発展に寄与するだろう。2016年のフェロー会員24名が承認される。6月10日からの第1回支部大会でフェロー会員からのメッセージ発信を予定している。



支部長活動報告 2016年3月  
2016年4月13日作成 上浪 寛